

中上級 観光デジタルデータ活用講座

「観光デジタルデータを読み解く～その表示・解析の方法」

～PCを用いた対面講座～

講師：東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授 清水哲夫

概要

DMOや観光協会などの地域における観光振興組織にとって、勘や経験だけに基づかないデジタル時代の到来に対応する意思決定が不可欠です。なかでも、通信会社や情報サービス会社が取得する位置情報に関連するデータは、誘致プロモーションに大きな力を発揮するWebマーケティングデータだけでは分からない旅行者のタビナカの詳細行動を把握できるポテンシャルを秘めており、地域での旅行者の高い消費額や満足の実現に向けてその積極的な活用が求められます。

しかし、位置情報の存在や種類はある程度理解しその活用に関心があるものの、実際に使用する機会は限られているため、実際にはどのような解析が可能で、そこから何を読み取れるのか理解できないのではないのでしょうか？

本講座は、地域観光振興組織や観光関連産業でマネジメントやマーケティング業務に携わる方で、位置情報の活用に強い意欲を有する方を対象に開講するもので、これらデータの特徴を比較的高度な演習を通じて理解するとともに、結果の表示や解析の方法を身に付けます。

日程：2024年1月6日および20日、10時～16時05分

会場：東京都立大学南大沢キャンパス9号館1階多目的室

https://www.tmu.ac.jp/campus_guide/map.html

※南大沢駅から徒歩10分、上記URL（キャンスマップ）の建物番号24となります。

募集人数：10名

参加費：無料

※講座内容の検証・改善のためのデータを収集させていただきます

参加条件

- ◆ 講座の全日程（2日間）に参加でき、事前学習用にPC（メモリ8GB以上推奨、Windows、Macいずれも可）を準備できること（対面講座にPCを持参する必要はありません）
- ◆ 都内に在住あるいは在勤の方で、観光関連事業に従事（予定を含む）している方
- ◆ 位置情報データの活用に強い関心のある方

講座内容

※状況によりゲスト講師の追加や内容を変更させて頂く場合があります

オンデマンド事前学習 ※参加者には事前学習動画のURLをe-mailにてお知らせいたします

その1	約60分	観光現象を分析するためのデータのバリエーション・特徴・解釈方法を理解する
その2	約60分	データの表現方法～地理情報システムQGISの基本機能を理解する
対面講座 ※各日10時開始16時05分終了（各時限75分間）、2時限後に45分の昼食休憩		
1日目 1/6（土）	1時限目	(PC演習) QGISの基本機能を使って滞在人口データを表示する技術を学ぶ
	2時限目	
	3時限目	(PC演習+ディスカッション) 地域の滞在人口の特徴を効果的に説明できる表示方法を考える
	4時限目	
2日目 1/20（土）	1時限目	(PC演習) 代表的な位置情報分析プラットフォームを使ってみる
	2時限目	
	3時限目	(PC演習+ディスカッション) 位置情報分析プラットフォームによる分析を通じて地域観光集客の特徴を読み取る
	4時限目	

【応募方法】 募集期間：2023年12月27日（水）まで

※ただし応募が定員を大幅に超える場合は早期に締め切らせて頂きます

参加条件をご確認の上、下記のWebフォームよりお申込みください。応募者多数の場合は、ご記入内容にて選考の上、参加の可否をe-mailにてご連絡させていただきます。

【応募フォーム】 <https://forms.gle/Ret23tXd4ij4cwx57>

■講座・申込に関するお問合せ先

東京都立大学 都市環境学部 観光科学科
清水哲夫 (e-mail) [t-sim\[at\]tmu.ac.jp](mailto:t-sim@tmu.ac.jp)
([at] を@に変えてお送りください)